

代表者名	菊池 勇咲	所管部課名	産業労働部観光課
所在地	小坂町十和田湖字鉛山無番地	設立年月日	平成9年12月5日

**【沿革及び県の出資理由】**

歴史的・文化的価値の高い十和田ホテルを後世に伝えるとともに、同ホテルの効率的な運営を図り、もって十和田地域の観光の振興に寄与することを目的に県等の出資により平成9年12月設立。

**【出資者】（23年度当初）** (千円、%)

区分	団体数	出資額	構成比
秋田県	1	100,000	40.0
市町村	3	25,000	10.0
その他	15	125,000	50.0
計	19	250,000	100.0

**【事業】**

**①主たる業務**

十和田ホテルの諸施設の管理運營業務  
酒類、食料品、土産物等の販売  
上記各号に付帯する一切の業務

**②事業実績** (人)

事業名等	20年度	21年度	22年度
宿泊客	14,359	16,374	16,975

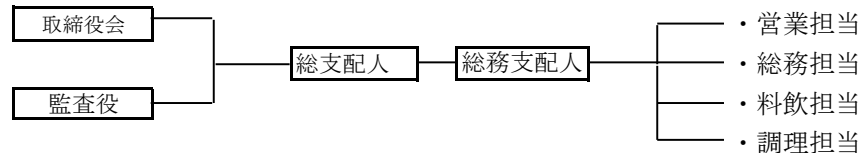
**③22年度事業概要及び23年度事業計画・目標**

平成22年度、国内経済は景気回復がみられないままデフレ状態が続く、秋田県内の観光業界全体においても依然として厳しい状況が続きました。このような状況下、宿泊客は16,975名(前期比601名↑ 7.3%↑)休憩客については経営効率重視の観点から営業形態を4~7・9月は土・日・祝日営業、8・10月は全日営業と見直しました。結果利用客は、7,794名(前期比▲3,896名▲33.3%)となりました。

平成23年度は3月11日に発生した巨大地震により予約人員は激減致しました。本年度の宿泊営業は冬季期間12月~3月は休止、またランチ・入浴休憩は休止と致しました。宿泊商品はラインアップを強化し、またローコストオペレーションによる経営の効率化を推進して参ります。

**【組織】**

**①運営機構**



**②役員数 (H23. 7. 1現在)** (人)

	取締役	監査役
常勤	1	
内、県退職者		
内、県職員		
非常勤	8	1
内、県退職者		
内、県職員	1	
計	9	1
内、県関係者	1	

**③職員数 (H23. 4. 1現在)** (人)

正職員	6	正職員平均年齢	正職員平均勤続年数
内、県退職者			
出向職員	1	32.1歳	4.7年
内、県職員			
臨時・嘱託			
内、県退職者			
計	7	正職員平均年収	3,500千円
内、県関係者			

役員報酬支給対象者数	2人
役員報酬支給対象者平均年齢	58歳
取締役報酬額	5,700千円/年

**【財務】**

**①損益状況(22年度)** (千円)

	金額
経常収入 A	301,675
受託事業収入	
補助金収入	
自主事業収入	301,643
運用益収入	
その他	32
経常支出 B	295,633
人件費	103,516
その他	192,117
経常損益 C = A - B	6,042
経常外収入	
経常外支出・諸税	300
当期損益	5,742

**②財務状況(22年度末)** (千円、%)

	金額	構成比
流動資産	55,348	90.4
固定資産	5,906	9.6
資産計	61,254	100.0
流動負債	12,741	20.8
短期借入金		
固定負債		
長期借入金		
負債計	12,741	20.8
資本金	250,000	408.1
剰余金	△ 201,487	△ 328.9
純資産計	48,513	79.2
負債・純資産計	61,254	100.0

県の損失補償額	県の債務保証額
---------	---------

退職給与引当状況	要支給額	引当額	引当率
			%

**【県の財政支出】** (千円)

	20年度	21年度	22年度	支出目的・対象事業概要等
補助金				
委託費				
貸付残高				

1 主な経営指標

項目		単位	20年度	21年度	22年度	20-21増減	21-22増減
健全性	自己資本比率	%	86.52	71.80	79.20	▲ 14.72	7.40
	借入金依存率	%	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
	流動比率	%	640.99	304.38	434.41	▲ 336.61	130.03
収益性	剰余金 (▲欠損金)	千円	▲ 183,184	▲ 207,230	▲ 201,487	▲ 24,046	5,743
	経常利益率	%	▲ 23.04	▲ 7.47	2.00	15.57	9.47
	総資本利益率	%	▲ 85.19	▲ 39.06	9.86	46.13	48.92
発展性	経常収入額	千円	285,525	311,682	301,675	26,157	▲ 10,007
効率性	総資本回転率		3.70	5.23	4.92	1.53	▲ 0.31
	職員1人当たり経常収入	千円	15,863	8,706	11,603	▲ 7,157	2,897
	人件費比率	%	42.65	38.52	34.31	▲ 4.13	▲ 4.21

2 経営目標の達成状況

経営目標			20年度	21年度	22年度	23年度
経営改善指標	経常利益額 (千円)	目標	20,000	5,110	264	▲ 13,328
		実績	▲ 65,797	▲ 23,270	6,042	
事業成果指標	売上高経常利益率 (%)	目標	5.7	1.4	0.0	▲ 6.8
		実績	▲ 23.1	▲ 7.5	2.0	
事業成果指標	売上高 (千円)	目標	353,000	369,600	298,464	193,780
		実績	285,106	311,491	301,643	
事業成果指標	個人客宿泊人数 (人)	目標	14,600	14,170	11,919	8,720
		実績	10,377	12,445	11,989	
顧客満足度指数		目標	86	88	90	89
		実績	89	87	88	

3 経営状況及び課題、経営目標の達成状況についての自己評価

平成22年度は、全館売上高301,643千円、対前年▲10,000千円。これは休憩部門営業短縮にて利用人員▲3,896名、休憩部門売上▲6,100千円、売店売上▲2,400千円となった。対計画は全館売上高3,179千円増1.1%アップとなった。

宿泊部門は利用人員対前年601名の増であるが、単価低下▲648円により売上高対前年▲1,700千円となった。引き続き宿泊商品のラインアップを強化し、経営の効率化を推進して参ります。

＜顧客満足度調査の結果を受けて実施する取組＞

- 1.お客様の一声収集により適時に改善を図ります。(料理・接客マナー)
- 2.業務改善指導と業務改善提案により改善に努めます。

4 総合評価 (計算書類等の資料及びヒアリングによる評価)

I 概ね安定した経営内容	II 一層の努力を要する経営内容
<p>・前年度より引き続き、損益管理を厳格に行い、営業形態の見直しや、業務の内製化により営業費用の削減を推し進めた結果、経常収入が10百万円減少となったものの、経常支出を39百万円減少させることができ、前年度の経常損失から当年度は経常利益6百万円を計上した。</p>	